

第10回 新宮市文化複合施設管理運営検討委員会 会議概要

日時：平成30年2月26日（月） 午後1時30分～午後4時00分

場所：新宮市人権教育センター

【出席委員】		堀内委員長、 勢古副委員長、関副委員長、川口委員、船上委員、竹中委員、 榎本委員、雑賀委員、東委員（新）
【欠席委員】		城庵委員、那須委員
【事務局】	文化振興課	田岡市長、楠本教育長、片山教育部長、須崎課長、 南課長補佐、南係長、前地係長、古川、船戸
	図書館	道前係長
	シアターワークショップ (TWS)	伊東氏、中山氏

〈開会-市長あいさつ〉

市長	平成28年度管理運営委員会においては、新宮市文化複合施設の在り方についての提言をいただいた。平成28年5月に基本計画の策定ができ、平成29年度の当初予定では詳細な決め事を策定するために力添えいただく予定であったが、建設予定地に重要遺構が見つかり、旧丹鶴小学校東側に出現した遺構を残す決断を下した。これにより、開発可能なエリアに制限が出た。詳しい経緯は後程事務局より説明するが、敷地の西側に計画できる案を提示することとなった。今後も引き続きご支援をお願いしたい。
----	--

〈開会-教育長あいさつ〉

教育長	1年ぶりの検討委員会である。この間、重要遺構が発掘され、保存と開発について検討を行ってきた。現在、基本設計の最終段階にあるが、専門的な見地からこういった施設を作っていくかを引き続きご意見いただきたい。
-----	--

〈報告-1 委員委嘱について〉

事務局	文化振興課では周知活動の一部としてプレイベントの組織づくりを行ってきた。より一層組織づくりを強めていくために、東俊孝氏（市民音楽祭ロックの部代表）を新委員に就任いただく。
委員長	委員委嘱の補充については行政マターであるため、東委員に入ってくださいこととなったという報告とさせていただく。

〈報告-2 施設配置の検討経過について〉

事務局	施設配置の検討経過について、3棟案から2棟案に変更し進めてきたが、遺構保存のため、ホール棟を西側に建てることに最終的に変更した。平成29年度1月から6月にかけて、ホール棟の遺構確認調査を行った。平成29年度7月から旧丹鶴小学校西側、市民会館跡地での施設配置を検討していた。最終的に、小学校敷地西側の1棟案で進めることを決定した。
事務局	計画概要について資料説明を行った。

事務局	発掘された遺構について詳細を説明する。第一次調査、図書館等確認調査では旧武家屋敷、地下式倉庫等の遺構が発掘された。旧丹鶴幼稚園舎があった場所では、港に降りていく階段や鍛冶屋跡等が見つかった。中世の港町があったのではないかとの見解であった。これを受け、文化財保護審議会から、敷地の東側については、保存すべきという答申があった。
<報告-3 プレイメント実行員会の経過について>	
事務局	市民ワークショップやプレイメント実行委員会、役員会の開催経過について説明を行った。
委員長	報告2、3について各委員より質問、意見等いただきたい。まずは私から基本的なことを質問させていただきたいのだが、施設配置案については議会にも同意いただいているのかということが一点。二点目は、財政が厳しい状況で、国交省の都市再構築事業で5割に及ぶ補助金を受ける予定であったが、遺構発掘による変更を含めて、補助を受けられるのかどうか、了解を県・国にいただいているのかということを確認したい。
事務局	- 一点目、議会への説明は特別委員会で行った。委員会として決議をするというものではないが、意見はいただいている。すべての議員において賛成の意見をいただいたわけではないが、市としては敷地西側に1棟で建設する案を進めていく。 - 二点目、都市再構築戦略事業については平成30年度までの期間をいただいている。ただし現地から重要遺構が出てきたため、国に申請し、口頭で2か年延長の了承をいただいている。変更申請など正式な書類のやり取りは今後行う。建築計画としては平成33年3月までに完成させ、33年度のなるべく早い段階でオープンさせる計画である。
委員長	現在計画中の西側の敷地については、川湊のような重要遺構が出てくることはないのか、仮に出てきた場合に計画が止まることはないのか。
事務局	県にも敷地の西側に建てることは伝えている。計画については複数回変更しているが、この場所に建てるということは伝えている。県の了解を得るものではないが、県と協議しながら進めていく。大型土坑列から東側は現状保存、西側は開発するものとしている。重要遺構が出てきた場合の取り扱いについて、小学校の校舎があった部分については、遺構の残り具合はあまりよくないと想定できる。県と協議しながら進めていくが、市としては計画が頓挫するようなことはないと考えている。
委員長	- 報告事項2、3について、各委員の意見を伺う。図書館が4階に設置されるということで、お年寄りや子供の利用など含めて問題ないか等ご意見いただきたい。 - この1年間の経緯について、市には中間報告程度あっても良いのではという話はした。少し時間がかかった経緯は事情があったのだと思う。会議できっちり説明してほしい旨を伝え、本日の委員会に至っている。
委員	4階の図書館を設置することについては、望むことではないが、十分な配慮をすれば問題ないのではないかと思う。プレイメント実行委員会等が行われているが、参加者が少ないのではないか。もっと動員をかける必要がある。賑やかなイメージをつけていく必要がある。

委員	・ プレイベント実行委員会に1年間関わってきたが、良かった点は役員が、特に委員長が自ら手を挙げて就任してくれたこと。その他の方も協力するという姿勢を見せてくれたことが良かったと思う。ただ、市民が計画についてどういう状況になっているのか、どこまで進んでいるかということを理解できていないので、どのように進めていけば良いかわかっていなかった。それを改善するためにも組織を組みなおそうとしている状況である。もっと市民を盛り上げられるようなイベントを行っていきたい。 ・ 平面図を見た際に、図書館が4階というのは少し違和感があったが、他委員の発言を聞いてそれも悪くないと思った。私自身、塾の講師を行っており、生徒をワークショップに数名参加させたこともあり、プレイベント実行委員会にも数名参加させた。ただ、生徒から出てくる意見は参加者が少なく盛り上がりには欠けるということであった。新宮市民でも複合施設ができることを知らない方が未だに多くいることが問題である。新宮市外の高校生、保護者も知らないことが多く、市外への発信も遅れている印象である。 ・ 旧市民会館の悪いところは回遊できないところであったが、それが現計画では解消されている。敷地西側に建設とのことで、ホールを図書館の上に設置するか、図書館をホールの上に設置するかのどちらかになるが、図書館を上げると景色を一望できるので良いのではないかと思う。 ・ 図面を見て、1年間一方的に進められたと感じた。色々な話をしながら委員会等を行ってほしかった。やる気をなくさせるようなやり方はしてほしくない。ハード面に関して、遺跡の価値観は人それぞれだが、新宮市がどうしたいのかを決めて発信してほしい。また、ワークショップがプレイベントにつながっていくという周知が弱かったことも問題だと思う。街としては丹鶴小学校でイベントを行った。丹鶴地区、そこで活動している方々が主体のイベントである。のぼりを立てたり、ステージイベントを行ったり、街角ギャラリーなど。街でも活動を行っているので、合わせて盛り上げていきたい。 ・ エレベーターは犯罪の温床になることは確かである。子供にはエレベーターの使い方を徹底させれば、心豊かになる図書館だと思う。 ・ プレイベントが盛り上がりには欠けていることは、途中変更があり、意欲がそがれている部分が大いと思う。他委員からも意見があったように、進捗状況の報告はマメにやっていたかなければならないと思う。3棟案が2棟案になった理由として、経費のことが挙げられていたが、無駄なことにお金を使わないよう委員会でも徹底していきたい。田辺市文化の会に2年間入っているが紀南文化会館、和歌山県民文化会館のイベントとタイアップして行っている。管理運営では紀南文化会館との関わりなくして行えないと思うので、検討の重要課題として挙げてほしい。紀南文化会館の担当者からは、管理運営計画は非常に大変だと聞いている。新宮市は文化人の輩出が多い。文化複合施設を中身も含めてすばらしいものにしていく義務があると思っている。 ・ 現状の計画について、新聞で1棟案になることを知った。委員会の位置づけは何だったのかと大変ショックを受けた。遺構も大切なことはわかるが、建てようとしている会館を他に移してまでやるべきことなのだろうか。後世に伝える方法は他にもあったと思う。どうして文化複合施設が必要なのかをもう一度考えて、遺構が出てきたことをチャンスにして、この2年間で建設を進めていただきたい。ワークショップについては、せ
----	---

委員	っかく去年１年間行っていたのだが、もう少し市民に訴えかけ、広くたくさんの人たちに知っていただきたいかった。第３回までは良かったが、雨で祭が無くなり、４回目以降が良くなかったと思う。ワークショップが実行委員会になってしまったので、何をやっているのかが全くわからなかった。遺構のことが新聞に取り沙汰されたので、施設の建設は無理だと思っている方も多い。遺構は保存すべきだという話もあるが、文化活動をしている方は文化複合施設の開館をずっと待っている。なんとかして平成３３年末までに進めていきたい。
委員長	市もプロセスの説明不足はあったと思うが、遺構の保存について検討に時間がかかった経緯はあると思う。基本設計の審査委員から関わっているが、計画からかなり時間がたっている。市民会館はもう無いわけである。新計画は苦肉の策だがよく考えられていると思う。プレイベントの話も含めて、シアターワークショップから一言いただきたい。
TWS	ここまで困難な計画はあまりない。プレイベント実行委員会は建物が出来るところを目指してやるもので、アゲインストの風が吹く中でよく頑張っていると思う。文化施設を使っている人は活動するところがないという理由からワークショップに参加することがあるが、本計画ではまちを盛り上げたいという気持ちから参加されている方もいる。その方たちが志を持って進められていることはすごいことだと思う。これから先のことが大切である。建物が建ち始め市民も盛り上がっていくので、ここががんばりどころである。組織の組み直しが大切。オープンから逆算して、活動していけばリカバー可能だと思う。
委員長	報告事項としては、以上。続いて平成３０年度のスケジュールについて確認していきたい。来年から実施計画にはいるが、行政に立ち入ってもらいながら進めていただきたい。
事務局	今回の会議は第１０回委員会である。次回から実施計画の内容に入っていく。プロセスについては委員のみなさまに報告させていただきながら進めていきたい。
<議事 ４- 今後のスケジュールについて >	
TWS	今後のスケジュールについて説明を行った。
委員長	昨年１２月に市長に出した提言書の概要、素案があるので、何を具体化して、実施計画としていくか検討していく。今後のスケジュールについてご意見、ご質問等をお願いしたい。
委員	- 一つ一つでもボリュームのある内容であると思うが、こういった場でどう議論していくのか。文化複合施設準備室設置等の機構改革はないのか。 - 広報だが、４月を待たずに出来ることはあると思う。新宮市の公用車にHPのアドレスや「平成３３年〇月開館」などの情報を載せても良い。また、電車の中吊りに広告を載せる、ラッピングバスを利用するなど、新聞以外の目立つ形でやることも必要である。市民が知る機会がないと厳しいと思う。 - 条例に関わることで、図書館部分に重点を置いた回を組んで欲しい。 - 自主事業に関して、主体はどこでやっていくのかを明確にしてほしい。それによって実行委員会の動き方が変わっていく。プロポーザルでやるのか市民でやるのか主体はどこになるのか、そこをはっきりさせてほしい。その辺りが昨年一年間曖昧でやりづ

委員	らなかった。 ・ プレイメント実行委員会を立ち上げた時点で、市が見放したような印象を受けた。アイデアとして、市民にお金を出してもらってはどうか。神社なら瓦 1 枚などで寄付を募ったりするが、タイル 1 枚でも良いので寄付していただいて、名前を入れてあげるなど、会館に思い入れが強くなるような仕組みを作ってはいかがか。 ・ 全 7 回だが、この中で多くのことを決めるので準備委員会は必要である。また、どのようにプレイメントを実施していくのか、管理運営検討委員会の立ち位置をはっきりさせてほしい。 ・ 地元の文化団体や関係者を巻き込むタイミングについては、しかるべき時に巻き込み、文化施設活用への筋道を立ててほしい。 ・ プレイメント実行委員会は、一部の人を集めてやっている印象。文化関連団体の関係者を交えて、色々な分野から人を集めていった方が良いと思う。
委員長	・ 事務局、TWS に回答をお願いしたい。文化複合施設開設準備室の設置を前向きに検討するよう依頼するという事で良いか。
事務局	・ 現状は厳しいが意見はありがたい。
委員	・ 市民会館、図書館、両方の人の意見を聞くべきである。輪を広げた市民の会を作ってほしい。
委員長	・ 図書館の潜在的利用者層は大きいので、それは別で立ち上げないといけない。
事務局	・ プレイメント、開館記念事業、これまで進めてきた実行委員会の形態が、人数が少なく、また、大きな団体に参加してもらえていなかった。この反省を含めて、平成 30 年度以降どのように進めていったら良いか、みなさんの意見をいただきながら検討していきたい。これまで連絡不足により、みなさんのモチベーション下がってしまったと思うが、今後ともご意見をいただきたい。
TWS	・ 行政が準備室を作るのは当然のことである。開館準備は激務であり、とても兼任では無理である。看板だけでも建てるべきと考える。今後設計・建設の話になると別の課が入ってくる。都市建設課などには、設計チームの一員だという意識でやってもらわないといい建物はできない。行政側が下支えをし、予算取りをすることが重要である。それに対して、市民側がどうやっていくのか、この委員会が市民の最高意見である。このメンバーの何人かがプレイメント実行委員会にも入ってもらい、風通しをよくすることが大切である。これまでの流れを汲んでいくという意味で言うと、この委員会が親、プレイメント実行委員会を子とすることがスムーズである。事業の種類を鑑賞型にするのか、市民参加型にするのか、フレームを決めるのが検討委員会。その中で市民が参加するものの前段がプレイメントである。文化団体の方については、これまでも声はかけていたが、自分たちの活動があり、手一杯であった。もう少し連携をしながら進めていくことが今後重要になってくる。条例の作り方の問題があるが、直営でやっていく場合、イベントの収支という考え方が無い。予算の消費や一つ一つのイベントでの収支になる。観客動員で収支を上げるなどの考え方ができない。その辺りをうまく解決できないと事業が継続していくのは難しい。特に今回は年間を通してどう使っていくかを、市民が使

TWS	いやすいようにするルール作りが大切。それから、ファンドレイズの話であるが、杉並区の座・高円寺では、お金を出してくれた方には椅子にプレートを張るという形で寄付をしていただいた。やり方は色々ある。みなさんのアイデアをいただきながら進めていきたい。
委員長	1 年前から予約受付を開始するが、どこが主体で実施するのかという意見があった。それを含めて検討していくのが委員会の役割である。実質 1 年半として、まだ時間はあるが急がなくてはならない。協議しながらプレイベントを行うなど、動きながらスケジュールを決めていくことになると思う。提案型、行動型の委員会にしていきたい。実施計画段階での提言書も提出が必要である。
委員	条例という言葉があったが、もう少し詳しく説明してほしい。
委員長	施設の目的、議会の予算を含めた承認、組織などを、文化芸術振興条例に沿って作っていくものである。
委員長	準備室の設置について、平成 30 年度 4 月に開設準備室を設置されたいという要望を本委員会から出したい。文章で出すということではいかがか。
委員	異議なし。
委員	委員会とプレイベント実行委員会の親・子の関係についての話ははっきりと実行委員会の中で明言したいがよろしいか。
委員長	実行委員会からもつながりを強めたいという意見があって、協議してからということであれば良いのでは。
委員	- 組織の立ち位置自体がわからなくなっているので、管理運営検討委員会とのつながりを持っているということを明言したい。 - なぜプレイベント実行委員会がうまくいかなかったか。一旦ゼロベースに戻って、人を集めてリスタートした方が進めやすいのではないかと思う。
委員長	再構築するいいチャンスなので、事務局、TWS、関係委員で一度詰めてほしい。
委員長	小さい意見でも事務局からはリプライしてほしい。
事務局	3 月にプレイベント実行委員会の役員会を行う予定である。
委員長	そこで連携してやっていけるような投げかけを行ってほしい。
委員	プレイベント実行委員会は何名いるのか。
事務局	委員会 5 名、参加者は集計できていない。
委員	立ち位置が曖昧な上に、お金もないのに役員を決めて、役員は非常に大変だったのではないのか。リスタートを含め検討してほしい。
委員	リスタートをかけるような役員体制を検討している。もう少し TWS と密に打ち合わせをしたかった。今後は密に打ち合わせをさせていただきたい。
委員長	- 管理運営実施計画の提言を深めていくために、今後も委員会を行っていきたい。 - 以上をもって第 10 回の委員会を終了する。

以上